

# 遊歩一景

## 水越山 (大谷台学区)

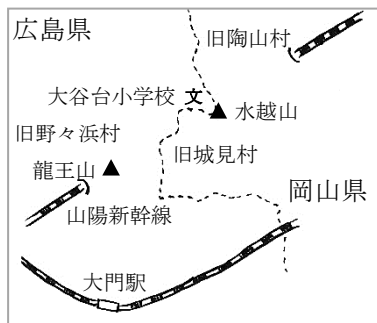
時代ごと  
郷を隔てた分水嶺  
昔も今も  
四季はうららかに



大谷台小学校の南にある水越山(みのこしやま)の山頂付近は、岡山県側と広島県側の分水嶺になっています。ここは、江戸時代前期は福山藩の領地で、東は陶山村(笠岡市有田)、南は城見村(笠岡市用之江)、西は野々浜村(福山市大谷台など)の村境でした。しかし、水野氏が改易になると陶山村と城見村が割譲されたため備中と備後の国境になりました。そして、明治維新以後に県境が引かれ今日に至っています。

1980年代に大谷台小学校の建設工事が行われて地形が変わりましたが、南西側の龍王山などと連なる山々が陣幕を張り巡らせたような容姿だったことから「幕山」の地名発祥の由来になったとされています。

現在は、稜線付近に遊歩道が整備されています。四季折々の自然を楽しむことができ、眺望の美しい散歩道として親しまれています。



## 東部いれこみ情報

学習情報  
No.259

2023年(令和5年)4月1日

4月号

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

カーは 福山市東部地域振興課

ホームページで検索・QRコード



YouTube・トーチューブ

桜の下で"さくらソング"を歌ってみた

東部地域振興課では、生涯学習の成果を発表する機会の一つとしてYouTubeのチャンネルを作りました。

今回は桜の花の美しい時期につき、音楽活動をしているグループや個人の方に出演していただき、桜をテーマにした楽曲などの演奏を録画して配信します。

次のQRコードを読み取りご覧ください。

●配信 4月8日(土) 9時～

●動画サイト YouTube

●チャンネル 東部地域振興課

●問合せ先 東部地域振興課

電話: 084-940-2574

FAX: 084-947-5658

メール: ↓ ↓ ↓

toubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp



桜坂ギャラリー

企画展

## 東部まちづくり博覧会 2023

●期間 4月30日(日)まで

●場所 東部市民センター  
2階 ロビー

現在、東部まちづくり博覧会を開催しています。東部管内にある15学区が、地域をあげて取り組んできた昨年度の活動などをパネルで紹介しています。

ふくやま東部文化フェスタ2023の展示としてスタートし、約2か月間展示しています。

主催・問合せ先 東部地域振興課

電話 084-940-2574

FAX 084-947-5658

「高めあう 人権感覚 確かな未来」

# ふくやま東部文化フェスタ 4年ぶりの開催！



オープニングの長浜学区浜っ子太鼓

3月5日に東部市民センターでふくやま東部文化フェスタが4年ぶりに開催されました。このイベントでは、ステージ発表や作品展示、バザール出店などがあり、東部地域で活動されている皆さんの日頃の学習成果を発表する場となっています。ステージ発表では、演奏やダンスなど14団体の出演があり、作品展示では、写真や絵画など22団体の作品と、東部管内17小学校の児童による作品の展示がありました。バザール出店では、手芸品や革製品など7団体の出店がありました。

実行委員会の黒田委員長は開会のあいさつの中で「地域の皆さんに親しまれ、愛されて受け継がれてきたフェスタは、コロナの影響で3年間開催できなかったが、多くの方の協力で今回待望の再開をすることができた」と話されていました。

今回のフェスタはコロナ禍ということもあり、規模を縮小した形での開催となりましたが、当日は天候にも恵まれ、多くの参加者で賑わい、テーマである「東部からローズマインド ～笑顔の花を咲かせよう～」のとおり、笑顔溢れる開催となりました。

また、フェスタの新たな取組として、YouTubeでの動画配信を始めており、当日ステージで出演がなかった団体の発表をオンラインで見ることができるようになっています。是非ご覧ください。



展示会場の様子



バザール会場の様子

ふくやま東部文化フェスタ youtube 検索



YouTubeチャンネル  
登録はこちらから



3月17日に開催した「ふくやま♡まちづくり大学」では、「『インターネット活用のススメ』～地域に美味しいデジタル～」と題して、コロナ禍で地域コミュニティの希薄化という課題が顕在化する中、地域活動のデジタル化の推進に向けて、東部管内の学区で取り組むデジタル化の先進事例やデジタル機器の使用方法などを動画配信で紹介するオンラインによる講座を行いました。

### 地域におけるデジタル技術活用の事例紹介

地域で進むデジタルの活用事例として、坪生学区ではホームページの立ち上げと公式 LINE を活用した情報発信の取組を、御幸学区では認知症に対する偏見をなくす取組として認知症カフェを開催する中で、コロナ禍でも専門職（介護・医療・福祉）・大学生・住民同士がオンラインで話し合える Zoom による取組を、幕山学区では「幕山デジタル塾」を開設し、インターネットを活用した地域活動の紹介やスマートフ

オンなどを使った交流の仕方についての講座を実施することでデジタル化を推進する取組を紹介しました。

### 東部地域のデジタル化の機運が高まっています

東部地域のデジタル化のニーズに対応する取組として、様々なデジタル機器を購入したことを紹介しました。地域コミュニティの運営やイベントなど、ニーズに応じて必要な機器を地域とシェアしてコミュニティの活性化や課題解決を図っていき、また、その機器を活用した各種講座・研修・会議等の手法について、機器の使い方の研修会を実施するなど、運営に対する支援も行っていきたいと考えています。

この講座を通じて「うちの学区もデジタル化の講座をやってみたい」「こんな会議をやってみたいがデジタル機器を使ってできるか」などの意見や思いがありましたら、ご相談ください。みなさんと一緒にデジタル化に向けて取り組んでいきましょう。

## 東部管内イベント・講座情報

### 春日コミュニティ館

#### おもちゃびょういんと～ぶ



【日 時】5月6日・6月3日（土）

10時～11時30分

【講 師】おもちゃドクター

【内 容】こわれたおもちゃをおもちゃドクターがなおします。

●【会場・申込み・問い合わせ先】春日コミュニティ館 084-943-2531

### ハートステーション♡

#### 生活上の各種相談に応じます

就労、生活、人権、教育、福祉など相談者の悩みをじっくり聞き、関係機関の紹介など問題解決に向けての取組を相談者と一緒に考えていきます。（プライバシーは守ります）

【日 時】毎週木曜日午後（予約制）

### 東部図書館からのお知らせ

#### 展示「移動図書館船～文化船ひまわり～」

【期 間】4月19日（水）～5月15日（月）

【場 所】東部図書館 1階フロアー

【内 容】1962年から19年間、県内の離島に本を届けた「文化船ひまわり」の模型や写真パネルの展示

●【問い合わせ先】東部図書館 084-940-2575

### サロンコンサート

【日 時】4月25日（火）

14時～14時30分

【場 所】東部図書館 2階集会室

【内 容】フルートの演奏

【出 演】Flauto Loquace



## ●文化や生活習慣の違いから

春日コミュニティ館の「中国の食文化を交流しよう」という講座で、講師の石井美芳さんのお話を伺いました。石井さんの祖母は9歳の時に中国に渡りましたが、戦争で国交断絶となり、70年代になってようやく帰国できました。80年代になり、中国に残っていた石井さんも14歳の時に中国帰国者三世として日本に来ることになりました。全く日本語が話せない状態で中学校に入学され、言葉だけでなく、生活習慣や食生活などの違いをなかなか理解してもらえず、つらい思いをすることも何度もあったと話されました。

## ●まずはお互いを知ることから

石井さんは分からないことをはっきりと相手に伝えることから始めたそうです。また、現在も地域活動にも積極的に参加して、自分のこと

を知ってもらう努力もされています。「自分からまず一步を踏み出すことを心がけています。お互いに違いを認め、分かり合う努力をすることによって、必ず理解ができると思っていますから。」と話されました。

## ●多様性は「他容性」から

多様性とは、まず相手のことを知り、違いを受け入れることです。心のバリアがないまちは、誰にとっても生きやすいまちだと言えるのではないのでしょうか。お互いの違いを認め合い、尊重し合える社会にしていきませんか。



## 放課後子ども教室実践交流会で、長浜学区の取組を発表しました！

3月23日（木）まなびの館ローズコムで、放課後子ども教室実践交流会が開催され、長浜学区放課後子ども教室の取組について、事例発表をしました。

「長浜学区では、1992年9月に学校週五日制長浜学区推進委員会を発足させ、『ひろば』と名付けて、子どもの居場所づくりの事業をスタートさせました。運営面では、小学校やPTA、公民館や地域の方などが連携して実施しています。ここ数年はコロナ禍で、中止もあ

りましたが、内容を変更しながら開催しています。」と話されました。事例発表後の意見交流会の中では、コロナ禍でどのようにして継続して実施しているのか保護者との連携をどのようにしているのかなどボランティアの募集方法について意見が交わされました。



## 桜のよきよき

三月…、歓喜にわいた第五回WBCは日本の優勝で幕を閉じました。野球は日本やアメリカでは人気の競技ですが、二〇一二年にオリンピックの正式種目から除外されました。理由は、参加国が少ない、女性が排除されているなど。オリンピック憲章は「全ての大陸の全ての人に参加する権利がある」と記述しています。実際、大陸別に参加国を見ると、特にアフリカが少ないようです。

日本では、二〇一六年の「夏の甲子園」で女子マネージャーがグラウンドに立つことを制止されました。これについて様々な立場の人が「多様性を受け入れる時期」と訴えました。そうした努力の成果として、二〇二二年に女子高校野球の決勝戦が甲子園で開催されました。また、広島県内でも中高生や社会人の女子チームが増えています。多様性を受け入れることは、組織や社会を強くし文化を豊かにできるかと。野球文化が乗り越えるべき課題は多いと思いますが、そうした努力の成果として、いつかまた、そして男女ともオリンピックのグラウンドへ。

